

問



補任課

肆方六八兮

磨名

第二師團等

律

人受第一回

五月五日

1478

1479

卷六九

五七七

肆 九三九

臺省

疑者九美

卷之六

長  主務課長  主務課員 	官  高級副官 	官  主計 	名 韓國政府憲聘ノ件 應 名 第二師團等	
	長 課 帶 聯 	主務課員 	主計 	者 記 錄 案 審 
	1478			

五月五日
 人受第一四四號

1479

連帶番号

番号五二六号
 番号五八六号
 番号五八八号
 番号六〇九号
 番号六三九号
 番号六七一号
 番号六八一号
 番号六九二号
 番号六九六号

上奏案

豫備陸軍三等軍団橋本權三郎外十名韓国
政府へ應聘ノ件

陸軍大臣

別紙ノ通奉仰 允裁可

(別紙)

第二師管

豫備陸軍三等軍団橋本權三郎

第三師管

豫備陸軍二等計年黒 彌吉

第四師管



✓ 豫備陸軍砲兵中隊 船越 光雄

第六師管

後備陸軍砲兵特務隊長 四元 嘉平次

第七師管

✓ 豫備陸軍騎兵中隊 萩原 恒太郎

✓ 豫備陸軍三等主計 仙頭 芳吉郎

第十二師管

後備陸軍歩兵少尉 生山 隆太

第十六師管

✓ 豫備陸軍歩兵中隊 菱本 良次

第十八師管

後備陸軍中尉 木室 利六

後備陸軍一等計中 道井 初次

後備陸軍少兵伍長 前田 國彦

右 韓國政府、招聘、應之、陸兵、輸出、許可

附渡

右 各裁満

橋本三等軍医外十名、以指合案（普通）

輸ノ田

左 許セラル

五月十二日

右 以指合ノ上

副官、第二師團參謀長、通譯兼

豫備陸軍三等軍医、橋本權三郎

右韓國政府、招聘、慰問、度、出張、件、允許、

成、名、別、成、市、人、交付、成、度

(別、成、前、記、指、全、上、)

副官、第三師團參謀長、通譯兼

豫備陸軍二等計手、黒彌吉

前、日、文

五月十二日

副官、第四師團參謀長、通譯兼

陸

軍

前同文

豫備陸軍砲兵軍曹 舩城 光雄

五月十二日

別官より第六師團参謀長、通牒案

後備陸軍砲兵特務曹長 四元 嘉平次

五月十二日

前同文

別官より第六師團参謀長、通牒案

豫備陸軍騎兵中尉 萩原 恒四郎

曰 陸軍三等主計 仙頭 芳太郎

五月十二日

前同文

副官第十師團參謀長一通蝶安木

後備陸軍少佐尉 生山隆太

前日支

五月十二日

副官第十師團參謀長一通蝶安木

後備陸軍少佐尉 菱田長次

前日支

五月十二日

副官第十師團參謀長一通蝶安木

後備陸軍少佐尉 木室利六

送

見

前日父

曰 陸軍一等計中 道井 初次
豫備陸軍少佐長 前田 國彦

五月十二日

副官、統監官、房人事課長、通譯、

豫備陸軍三等軍醫 橋本 權三郎

曰 陸軍二等計中 船越 光雄

後備陸軍砲兵特務隊長 田元 嘉平次

豫備陸軍騎兵中尉 萩原 恒四郎

曰 陸軍三等計中 仙頭 芳太郎

後備陸軍少佐 村 生山 隆太

陸軍省 領事課 六二七

軍事第九九号

四月四日

豫備陸軍騎兵中尉萩原恒四郎

右韓王政府に碑を用き記し通経

命せん度ニ就テハ御事支無し

貴公至急應答ニ與スル事統帥

取計、上計の、月日申通候相

情交此致及照會致也

明治三十三年三月三十日

統帥官房人事課長岡本



陸軍省蔵心回謹取

七祀

兵務局主事

水谷孝之丞

(保給年額金百八拾圓)

年額金百貳拾圓



徳川幕府
文政七
九月

第百九十六

五月二日

豫備陸軍等主計仙頭井太郎

右左方、快歸子政右、聘用

を祝し通任命セシノ存ニ就テ

御重し之旨とす、至急應

聘ニ要ス、多読少加計、上許の

ノ月、御通稱、古煩、友此、何、不、思

今、也

進、テ、中、月、一、來、規、ノ、手、續、應、リ、可、政、策、ニ

也

軍事省
文政七



明治二十三年己月二十日

統略各房ノ事務也國分家太



陸軍省御意に同陸一

光記

建築所主事

並に各等七級
在任金二萬七千五百圓
在任金二萬七千五百圓

陸軍省
陸軍部
第七九號

七九

號

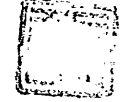
陸軍省
陸軍部
第九三八號

九三八

號

軍事部第二九號

五月二日



韓國政府、應聘者、願書進達ノ件

明治三十四年四月十八日第士師團長男爵伊地知嘉外

陸軍大臣子爵寺内正毅授



九記ノ者、對スル韓國政府應聘願書別紙及進

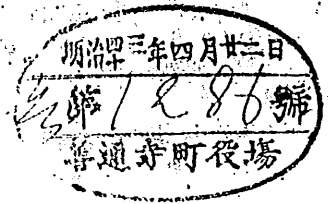
達候

九記

吾通事縣隊區 豫備陸軍騎兵中尉秋原恒四郎

高知縣隊區 豫備陸軍三業主計仙頭芳太郎

陸軍



韓國政府應聘願

恒四郎儀

今般韓國政府、招聘、應、度、候、間、街、許可、被、成、下、度、別、紙、招聘、契約、案、ヲ、添、此、段、奉、願、候、也、

明治四十三年三月十三日

青縣仲多度郡善通寺町在善通寺三九十五番地

豫備陸軍騎兵中尉萩原恒四郎

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

豫備陸軍騎兵中尉秋原恒四郎	一官名 度支部主事	二職名 關稅司事務員	三官等俸給 判任官四等 八級俸	四手當 年額四百貳拾圓	五舍宅料 月額貳拾圓	六官等進級 隆熙二年勅令第四十二號官等俸給	七手當年額增給 日本入官吏任用内規ニ據ル	八手當年額增給 日本入官吏任用内規ニ據ル	九手當年額增給 日本入官吏任用内規ニ據ル	十手當年額增給 日本入官吏任用内規ニ據ル	十一手當年額增給 日本入官吏任用内規ニ據ル	十二手當年額增給 日本入官吏任用内規ニ據ル	十三手當年額增給 日本入官吏任用内規ニ據ル	十四手當年額增給 日本入官吏任用内規ニ據ル
----------------------	------------------	-------------------	------------------------	--------------------	-------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

學歷書

香川縣仲多度郡善通寺西大字善通寺冬見族五番地士族
陸軍騎兵中尉從二位勲三等功立飯法政學士秋原恒四郎

明治三十二年三月十日生

一明治三十九年四月一日

京都法政大學大學豫科へ入學

一明治三十九年九月十日

全學專門部經濟科別科第一年級畢業修

一明治四十年七月十日

全學大學豫科卒業

一明治四十年九月十日

全學大學部經濟科別科第二年級へ進入

一明治四十年九月十日

全科第三年級へ進入

一明治四十年七月十日

全科卒業

右に通り相違無之矣也

明治四十三年 月 日

右

萩原恒四郎



1497

帝連

任主



陸軍大臣子爵寺内正毅殿

今般韓國政府、招聘ニ應シ度候間御認可
被成下度別紙應聘契約條件書相添、此
既奉願候也

明治四十三年四月一日

豫備役陸軍三等主計仙頭芳太郎



應聘願



芳太郎儀

高知縣 明治四十三年四月五日
區司令 部 第三二九



1498

受第三三三九号
明治三十四年四月廿六日

1499

應聘契約條件



一 韓國政府、待遇 判任

一 應聘中、職務 建築所主事

一 俸給其他給與、金額 月額八拾圓

一 應聘年限 十シ

以上

1500



陸軍省 第四四九號



陸軍省農務工部技手ニ由テ
方、義、干、義、子、照、香、行、定、名、ハ
種、苗、播、種、手、知、任、力、等、七、級、ニ、分、用
コトニ、為、更、步、成、リ、全、通、了、知、上、一、統
計、計、其、事、交、リ、

明治三十二年三月十七日

陸軍省農務工部技手



三月廿日

469

1502

1501

武蔵

第百一十一号

第百一十一号

三月廿三日

449



豫備陸軍砲兵軍曹松城光雄
 神戶農商工部技師神田信房
 方義干之義子照吉之定次
 種苗場技師松任孝之等之紙二信房
 二ト二高更之成り手之知上之
 計 ありあり

明治三十三年三月十日

逓信省人事課長岡本象右



1502

1501

陸奥大蔵山田庄一ノ

新 皇 片

1503

機密統彙第三九二號

陸軍省
受領
第一四四九號

三月十五日

東之西三

豫備陸軍砲兵軍費昭然
雄々韓國政府之聘用也
通伯也又方就之而多矣
之依何處得之其意也
至急而得之其意也
報也此其所以昭然也
通伯也又方就之而多矣
之依何處得之其意也
至急而得之其意也
報也此其所以昭然也

後世の奇人異士を
集めて
家
を
な
す



陸軍省
海軍省
同
一
形

大記

嘉永二年

和信

（傳給）
嘉永二年

嘉永二年

軍事第一八八号

五月二日三浦



第九

四

號

陸軍省
陸軍部

九二九號

外國政府應聘願書進達

明治四十三年四月二十八日第四師團長男爵土屋光
陸軍大臣子爵寺内正毅殿



豫備陸軍砲兵軍曹

船越光雄

右之者外國政府應聘ノ儀別紙通り願出候ニ付外國政
府應聘者内規第一條ニ依リ及進達候也



陸

軍



第四師 明治四拾叁年 四月廿一日
 關受領 乙 第四一五號

願書

一 陸軍大臣
 二 陸軍省
 三 陸軍部
 四 陸軍省
 五 陸軍部

聯隊區 經由 司令部

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

三原 北 陸軍部

光雄儀

1507

今般韓國政府、招聘應度主間
 御許可被成下度別紙應聘契約條
 件相添此段奉願書也

四月丙 受第一五〇號

明治四十三年三月十六日

兵庫縣三原郡北村內新田村
 豫備役陸軍砲兵軍曹 船越光雄

陸軍大臣伯爵寺正毅毅

前書通り目違無之矣也
明治四拾年参月北拾参日

岳庫縣之空郡北阿萬村長武田民平



1508

別紙

應聘契約條件

一 韓國政府待遇

判任四等七級

1509

一 應聘中職務

種苗場技手

一 俸給其他給與金額

俸給月額 四拾圓

手当月額 貳拾圓

一 應聘年限

年限ヲ定ム

続発第二九四二号

五月四日

平賀



室月未六の盛喜第一二四一號又四月
五の盛喜第一二四二号は興合の係人
生山隆太の一名及木室未六の三名
ノ件中有之候ハ、由支母より來許
可止の係より其月日付通報也
交支母及由支母也
近々東本玉次郎ノ件とある文あり
大や誤り也
明治四十二年四月二十日

倭軍が新なる上田隆一

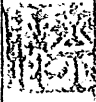


倭軍が新なる上田隆一

院

未結

補任

大官房		主務局課		裁決		大臣		件名	番受
了結	領受	出提	領受	號番				名	號領
明治 年	明治 年 三月廿五日	明治 年 三月廿五日	明治 年 月 日	第一〇四號				後使陸軍省事務官に澤太右衛門或名韓國政府に應聘し付	第六〇九号
長局帶聯					主務局長	參事官	次官委	廳名	
								第六〇九号	
長課帶聯					主務課長		高級副官	第六〇九号	
								第六〇九号	
者記筆案審					主務課員		主計	第六〇九号	
								第六〇九号	

1512

列友より後世を為る事深き照會抄

大邱牧守長官馬枝子 以倭陸軍兵也村生山隆太

税関主事 以倭陸軍兵也村生山隆太

巡查 以倭陸軍兵也村生山隆太

古く願書、通韓國官吏に任令、為同金政府、應務
候所、貴府に於ては、支度之に裁可、知照、

陸軍省 陸軍部 第二二二一 號 三月廿六日



第六師團司令部

賀人高第 三三 號

陸軍省 領肆第 少々七 號

三月十四

明治四十三年三月十一日

韓國政府應聘願進幸件

第六師團長男爵木越安綱

陸軍大臣子爵寺内正毅殿



九記、者韓國政府、招聘ニ應シ度趣ヲ以テ
別紙之通り願出候條及進達候也

九記

後備陸軍砲兵特務曹長四元嘉平次

補任

軍事

陸軍

嘉平次儀
今般韓國政府ノ招聘ニ應シ度候間
御許可被成下度別紙應聘契約條件
書ヲ添ヘ此段奉願候也

明治四十二年十月二十日

本籍

鹿兒島市山下町四百七番戸
戸主見玉修義同居

後備役陸軍砲兵特務曹長勲等四元嘉平次

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

應聘契約條件

一 韓國政府、待遇

判任官二等

一 應聘中、職務

税關主事

一 俸給其他給與、金額

四給俸

(俸給、外月手當金五拾五圓、宅料參拾圓)

一 應聘年限

不定

今般韓國政府ノ招聘ニ應シ度候間
御許可被成下度別紙應聘契約條件
書ヲ添ヘ此段奉願候也

嘉平次儀

明治四十二年十月二十日

本籍

鹿児島市山下町四百七番戸
戸主児玉修義同居

後備陸軍砲兵特務曹長勲等四元嘉平次

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

應聘契約條件

一 韓國政府、待遇

判任官二等

一 應聘中、職務

税關主事

一 俸給其他給與、金額

四級俸

(俸給、外月手當金五拾五圓、宅料參拾圓)

一 應聘年限

不定

陸軍

領事第五八六號

三月十五日

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

明治四十三年三月十三日

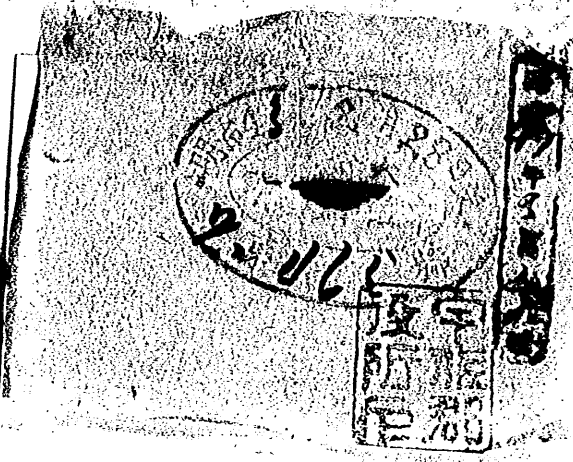
第士師團長男爵淺田信興

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

後備陸軍步兵少尉生山隆太

右、者、對、韓、國、政、府、應、聘、願、及、進、達、候、也

陸軍



大分縣宇佐郡豊川村役場

大分縣
宇佐郡
豊川村
役場
第二三五五

儀

國政府ノ招聘ニ應シ度候間

被成下度別紙應聘契約案

山既奉願候也

明治四十三年二月廿四日

大分縣宇佐郡豊川村大字下坪田五百七十番地

後備役陸軍歩兵少尉生山隆太

陸軍大臣子爵寺内毅殿

權孫村川齋那佐古藏

隆太儀

今敝韓國政府ノ招聘ニ應シ度候間

御許可被成下度別紙應聘契約案

ヲ添ハ此段奉願候也

明治四十三年二月廿四日

大分縣中佐郡豊川村大字下坪田五百七十番地

後備役陸軍歩兵少尉生山隆太

陸軍大臣子爵寺内毅殿

應聘契約案

一 韓國政府待遇 判任官

一 應聘中職務

大邱財務監督局
技手

一 俸給額其他給與金額

未定

一 應聘年限

ナシ

朝鮮第六〇九
第八二號

三月廿日

海軍大臣

第八師
司令官
甲寅第一一九號

三月十六日

領書進達

明治三十四年三月十日 第十八師司令部

陸軍省御中

後備役陸軍一等計道井初次

右者對立別紙韓國政府應聘領書及進達候
也

陸軍

應聘許可願

初次儀

今般韓國政府、招聘應シ度候間御許可被成下
度別紙應聘、契約條件書ヲ添ハ此段奉願候也

明治四十三年三月六日

福岡縣久留米市櫛原町八十二番地士族

候補陸軍一等計子道井初次儀

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

契約條件

一 韓國政府待遇判任待遇

一 應聘者職務巡查

一 俸給其他給與金額月俸十兩月手当二十六兩

一 應聘年限無期限

右



1526

司馬官、税長、左房、人事課長、照會、按

税関長、更

以、使、陸軍、少兵、中、村、木、宮、判、六

税関港務医友補

陸使、陸軍、少兵、中、村、木、宮、判、六

道勅業技、子

陸使、陸軍、少兵、中、村、木、宮、判、六

地方金融組合理事

陸使、陸軍、少兵、中、村、木、宮、判、六

巡查

陸使、陸軍、少兵、中、村、木、宮、判、六

古、頭、書、通、特、國、吏、任、令、為、同、公、政、府、應、聘

系、死、可、貴、府、於、テ、は、多、支、其、之、裁、形、古、政、府

近、テ、累、陸、普、才、六、二、号、ヲ、以、テ、及、照、令、之、者、計

子、衆、本、出、於、師、ハ、村、務、累、主、事、任、令、之、者、有

之、以、之、付、之、者、多、支、有、之、保、モ、テ、四、枝、也、後、度

陸軍省

陸普第一四四七號

四月五日



軍省領第 三九號

三月廿二日

人乙第一一號

韓國政府應聘領書進達

明治三十三年三月十九日 第三師團長男爵渡邊

陸軍大臣子爵寺内正毅殿



左記人名ヨリ別紙通り韓國政府應聘領書差出
候ニ付及進達候也

左記

津昨隊區

豫備役陸軍二等計年黒彌吉

陸軍

今般韓國政府、招聘應度候間御許可被成下
彌吉儀
度別紙應聘契約条件書ヲ添へ比段奉願候也

明治四十二年二月十五日

津聯隊區年六

豫備役 陸軍二等計了 黒 彌吉



陸軍大臣子爵寺内正毅殿

應聘契約条件

一 韓國政府待遇

利任待遇

一 應聘中職務

地方金融組合理事

一 俸給其他給與金額

俸給四十萬舍宅料二圓

一 應聘年限

不定

以上

朝鮮第六七一

第十八師 甲發第一二二號

韓國政府應聘願書進達

明治四十三年三月三日 第十八師司令部

陸軍省御中

左記者、
韓國政府應聘願書提出候、
別紙、
願書互進達候也

左記

豫備役陸軍中士伍長前田國彦

軍事第七四〇号

1531

陸軍

國彦儀

今田韓國政府、招聘、應、度、候、
間、御、許、可、被、成、下、度、割、紙、應、聘、
糸、件、書、相、示、此、故、奉、總、候、也、

明治四十二年正月五日

能、才、縣、天、章、郡、御、前、浦、村、子、色、後、番、地、

豫、備、役、陸、軍、歩、兵、長、前、田、國、彦、儀、

陸軍大臣子爵寺也正敬殿

應聘契約条件

一 韓國政府、待遇

判任官待遇

二 應聘中職務

韓國、巡查

三 俸給其他給與、生養

俸給九箇月、手当貳拾五圓

四 應聘年限

明治四十二年十月一日より四年

五年、契約締結あり

第六八一號 軍事部第二四三號

三月廿六日

大高第 四七號

明治三十二年三月廿四日

第二師團長男爵松永政



陸軍大臣子爵寺內正毅殿

左記、毛、韓國政府、招聘應シ度音別紙之通願出候付明治三十二年遂乙第
二八二號外國政府應聘者中規第一條
ニ據リ關係書類及進達候也
左記

豫南坂陸軍三等軍醫橋本権三郎

1537

庶

今收韓國政計ノ招聘ニ應シ改札為後洋の
波成下波別紙應聘契約案ヲ添へ此後有
名也

明治四十三年二月七日

福島縣安積郡小原田村松塚字松塚三十町地

浪備收陸軍三等軍醫山八位勲一等橋本權三郎



陸軍大臣子爵寺内正毅殿



權三郎儀

1538

應聘契約條件

- 一 韓國政府、待遇
 - 一 應聘中、職務
 - 一 俸給其他給與、金額
 - 一 應聘年限
- 判任二等四級俸
税関港務醫官補
俸給手當共九拾圓
年限、定メス

陸軍省 領肆第 乙九乙 號三月廿八日

第十六師 召發第五三 號

外國政府應聘願進達

明治四十三年三月二十六日

第十六師團長男爵山中信儀

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

豫備役陸軍歩兵軍曹菱本長次

右韓國政府招聘ニ應シ度願出候ニ付キ
外國政府應聘者内規第一條ニ依リ別紙願
書及進達候也

陸軍

明治十三年三月二十三日

京都府紀伊郡伏見町長人見喜三郎

京都府紀伊郡伏見町長人見喜三郎

韓國政府、應聘、付御願

長次儀

今般韓國政府、招聘、應シ度美間御
許可被成下度、別紙應聘契約案ヲ
添へ此段奉願矣也

明治四十三年三月十六日

小糸京都市紀伊郡伏見町長人見喜三郎
現任外務省書記官

豫備陸軍步兵軍曹

菱本長次

陸軍大臣

子爵寺内正毅殿

忠清北道觀察道

大和堂會印刷部

應聘契約条件

一 韓國政府待遇

判任三等五級俸

一 應聘中職務

道勸業技手

一 俸給及手當金額

月俸三十圓、手當年額六百圓

一 應聘年限

年限ヲ定メズ

右、通相違無之候也

右

菱本長次

大和國會印部部柄

大和國會印部部柄

軍省領第百九十六

三月廿八日

第十八師司令部發第一二五號

韓國政府應聘願書進達

明治三十五年三月十四日 第十八師司令部

陸軍省御中

左記者、對左韓國政府應聘願書別紙及進達
張也

左記

後備後陸軍中尉木室判六

陸軍

今般韓國政府ノ招聘ニ應シ度候間御許
可被成下度別紙應聘契約案ヲ添ハ此段
奉願候也

明治四十三年三月二十日

本籍地

佐賀縣

特島郡六角村大字今泉

平民

後備役陸軍歩兵中尉木室利六



陸軍大臣子爵寺内正毅殿

應聘契約案

一、韓國政府待遇
一、應聘中職務
一、俸給其他給與金額
一、應聘年限

判任五等
稅關監吏
年七百圓
年限ヲ定メス

閱



外

明治四十三年五月廿六日



五月三十日

統監官房人事課長國分象太郎



陸軍省副官

殿

豫備陸軍三等主計仙頭芳太郎五月二十日付ヲ以テ

前駐會之通韓國政府、聘用任知相成

依條御了知相成此書及通牒也

統
監
府

外

明治四十三年五月廿六日

五月三十日

統監官房人事課長國分象太郎
陸軍省副官殿



豫備陸軍騎兵中尉萩原恒四郎五月十九日付ヲ以テ
前駐會之通韓國政府、聘用任知相本
依條御了知相感念此等及通陸軍也

皇
領
九
之
九
分



陸

統監官房人事課長國分象太郎
陸軍省副官 殿



豫備陸軍砲兵軍曹船越光雄五月二十日付ヲ以テ
前駐會之通韓國政府ニ聘用任知相兼
依條御了知相成意此書及通陸軍也

統
監
府



六月一日

1551

1550

明治四十三年

陸軍省

陸

明治四十三年九月廿七日

統監官房人事課長國分兼太郎



陸軍省副官

殿

豫備陸軍砲兵軍曹船越光雄九月二十日付ヲ以テ

前駐會ノ通韓國政府ノ聘用任知相兼

休條御了知相成意此書及通陸軍也

明治四十三年

五月二十日

陸軍省

六月一日

統監府

1551 1550

軍事

閱

領肆第六九二號

陸軍省副官 殿

豫備陸軍歩兵軍曹菱本長次本月十二日付ヲ以テ
前照會之通韓國政府へ聘用任命相成
候條御了知相成度此段及通牒供也

太



七月廿五日

統
監
府

1553

1552

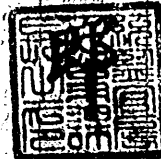
号外

明治四十三年七月廿一日

軍事律第四二號

七月廿五日

統監官房人事課長國分象太



陸軍省副官

殿

豫備陸軍歩兵軍曹菱本長次本月十二日付ヲ以テ
前照會之通韓國政府へ聘用任命相成
候條御了知相成度此段及通牒供也

閱

軍事

統
監
府

1553 1552